

1 美術館の利用の承認等に関する業務

● 来館者数の動向

第4四半期の来館者数は前年同期比で32%減となり、過去5年間の同期比で平成25年度に次いで2番目に少なかった。過去5年間の同月比で見ると、1月の来館者数は最少、2月は2番目に少なく、厳しい推移となった。3月については、過去5年間の同月比平均には一歩及ばなかったものの、徐々に来館者数が回復してきている。

2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務

● 施設・設備の維持管理

- ・通常の設定機器点検を行い、設備の管理を的確に実施した。
- ・市実施の防犯カメラ追加設置修繕に立ち会い、現場での設置位置の調整に協力した。
- ・女子トイレで水漏れが発生した際、迅速な止水対応を行い施設の環境維持に努めた。
- ・恒温恒湿機用加湿器にエラーが発生した際、迅速な対応を行った。

● 施設の運営

- ・施設案内パンフレット、年間展示案内カレンダーを作成し、施設の周知に努めた。
- ・窓口における受付、施設案内等を適切に行った。
- ・ツイッター等のSNSを活用し、美術館の宣伝強化に努めた。

3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務

● 展示・その他事業

- ・事業計画どおり、企画展・特別展及び普及事業を開催した。
- ・各展示会とも展示解説を実施し、参加者は236人だった。
- ・開架図書コーナーでの図書閲覧者は600人だった。
- ・春休みの時期に合わせて、小中学生を対象にした子ども参加プログラム「春休み親子鑑賞」を実施し、親子で日本画に親しめる機会を提供した。
- ・金沢地区センターにてNPO法人横浜金沢文化協会主催の館外ワークショップ「～日本画初心者向～日本画材で描いてみませんか？」に参加し、市外にも鎬木清方記念美術館をPRするとともに、絵を描く楽しさに触れる機会を提供した。

● その他必要な業務

- ・葉祥明美術館や山口蓬春記念館との相互割引や近隣文化施設とのスタンプラリーを実施するなど、他館との連携に努め美術館のPRを行った。
- ・社会貢献活動として、大学院生1名のインターン(4月～翌3月)の受入を行った。

4 鎗木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務

● 収集・保管

- ・作品等の保管状況や展示状況の確認を2月16日、3月22日に行った。結果はいずれも良好であった。
- ・事業計画どおり、作品の修復を実施した。

● 調査・研究

・子ども向けのキャプションの体裁についての調査、寄贈作品(木村莊八作挿絵原画)に関する調査、新派系画家における南画の受容についての調査、金鈴社についての調査、《水汲》に描かれている植物に関する調査、『少年界』『少女界』に関する調査、清方と寺島紫明との関わりについての調査、吉田五十八建築についての調査、子ども向け鑑賞ワークシートの内容に関する調査、映像に付ける英語字幕に関する資料調査、『續こしかたの記』記載事項に関する調査、清方と笠原常方の関係に関する調査、笠原常方作品に関する調査、清方の年方門下時代の作品に関する調査等

5 その他市長が定める業務等

● 事務処理

- ・例月の指定管理業務報告書等は期日までに提出されている(1月分:2月14日、2月分:3月14日、3月分:4月14日提出)。
- ・展示替えに伴うホームページの情報更新が適切に行われていた。
- ・市広報に展覧会や子ども参加プログラム「春休み親子鑑賞」の情報を掲載し、市民への周知を行った。
- ・モニター広告を利用し、市役所本庁舎に來た市民等に展覧会内容を周知した。

● 事故・苦情対応

- ・事故や苦情はなし。

● その他

・文化庁補助事業「鎌倉の美術館 外国人利用のための環境整備事業」として、鎗木清方記念美術館ホームページ(日本語・英語)の全面リニューアル、北鎌倉から鎌倉にある文化施設を紹介し、周遊観光のモデルコースを案内するウェブサイト「鎌倉アート&カルチャーMAP」の製作、鎌倉の文化施設を訪れる国内外観光客の観光ルートを探る動向調査を行い、市民だけでなく国内外の観光客に鎗木清方記念美術館の存在をアピールするとともに、来館者獲得に努めた。また、新たな情報発信手段としてyoutubeに清方の代表作である『朝涼』を子ども向けに紹介した動画を配信した他、館内で見られる映像番組に英語字幕を追加し、外国人観光客の利用促進に努めた。

6 全体評価

・第4四半期の来館者数は、過去5年間の同期比で平成25年度に次いで少なかった。過去5年間の同月比で1月は最少、2月も2番目に少なく、著しく好調だった前年同期とは一変、大幅に来館者が減少した。昨年度は1月末で神奈川県立近代美術館鎌倉館が閉館することから駆け込みの来館が多く、その足で鎗木清方記念美術館にも来館する人が多かったが、今年度は12月末で神奈川県立近代美術館鎌倉別館が休館に入ったため、神奈川県立近代美術館別館から周遊来館していた人数分、来館者が減少したと考えられる。3月に入っても寒い日が長く続いた影響で鎌倉を訪れる観光客が前年同時期より少ないようであったが、旅行雑誌に鎗木清方記念美術館が掲載されると、旅行雑誌連動企画ツアー客の来館や子ども参加プログラム「春休み親子鑑賞」の参加により、徐々に来館者数回復の兆しが見えてきている。文化庁補助事業に積極的に応募し、獲得した補助金を活用して行った、日本語と英語のホームページの全面リニューアル、北鎌倉から鎌倉を周遊観光するモデルコースを紹介するウェブサイト製作が3月で完了し公開したこと、PRチラシを市内各所に配布、プレスにも情報提供をしたため、今後の反響に期待したい。また、次年度の来館者増加に向けて、積極的に新しい事業に挑戦するなど検討、実施に努められたい。

・施設の維持管理業務に関しては、日常点検を始め、各種定期点検を計画的に実施している。市への報告も徹底されており、適切な対応が取れている。また、定期的な清掃・庭園整備だけでなく、日々職員が清掃や剪定作業を行い良好な環境づくりに努めている姿勢は評価できる。

平成28年度第4四半期判定評価

【鍋木清方記念美術館】

評価項目	判定点	第4四半期 評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	○	
特別利用			
作品に悪影響が出ないような適正な承認を行っているか	10	○	
2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
施設の運営			
館及び展覧会の周知が積極的に図られているか	5	○	
3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務			
展示			
計画どおりに展覧会が開催されているか	10	○	
その他必要な業務			
展示以外の自主事業は適正に実施されているか	5	○	
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 鍋木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務			
美術品等の維持管理			
美術品の所在は確認されているか	3	○	
温湿度管理など、美術品が適切に取り扱われているか	5	○	
調査・研究			
計画どおり調査・研究が進められているか	5	○	
出版物の管理・保管は適切に行われているか	3	○	
5 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告はされているか	5	○	
その他			
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報 は適切に管理されているか	10	○	
減点の計			0

実施されている場合・・・○ 実施されていない場合・・・×

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%